

(様式2-1) 社会資本総合整備計画 事後評価書(案)

1. 整備計画													
計画の名称	サイクリングの聖地“ふじのくに”の自転車走行空間の整備												
計画の期間	平成28年度～令和2年度(5年間)			交付対象	静岡県、沼津市、富士市、焼津市、牧之原市、御前崎市、湖西市、磐田市、吉田町								
計画の目標	国内外のサイクリストの憧れを呼ぶ聖地“ふじのくに”の実現に向け、「静岡県自転車活用推進計画」に基づき、安全で快適なサイクリングの走行環境の整備・充実を図り、県下のサイクリング愛好家のすそ野の拡大と、サイクリングを通じた観光交流人口の拡大を目指す。												
計画の成果目標(定量的指標)	太平洋岸自転車道をはじめ、静岡県自転車活用推進計画に位置付けのある路線の自転車走行環境整備済(簡易整備を含む)道路延長を約45%向上させる。 サイクリングを含めたアウトドアツーリズム等、総合的な観光施策を通じ、県内の観光入込客数を約10%向上させる。												
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値			備考
										当初現況値	中間目標値	最終目標値	
										(H26末)	(H30末)	(R2末)	
①	自転車走行空間整備済(路面表示を含む)の道路延長を調査し、自転車走行空間整備率を算出する。 (自転車走行空間整備率) = (評価時点の自転車走行空間整備済延長) / (対象路線の道路延長) × 100									30%	-	75%	
②	県内の観光入込客数の増減率 (観光入込客数の増減率) = (評価時点の年間観光入込客数) / (H26の年間観光入込客数)									100.0% (147,935千人)	-	110.0% (162,728千人)	
③													
全体事業費	合計(A+B+C)	1,426百万円	A	1,426百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0%		
事業種別	主な交付対象事業	要素となる事業名(事業箇所)			事業内容(延長・面積等)			市町名	全体事業費(百万円)	備考			
道路		(国)135号ほか			自転車走行空間整備 90km			熱海市ほか	200				
事業数		(国)136号ほか			自転車走行空間整備 150km			下田市ほか	500				
17		(国)414号ほか			自転車走行空間整備 70km			伊豆市ほか	150				
2. 事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込 -:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等)) (計画期間中に他の整備計画に移行したもので、●:本計画の期間中に完成 ▲:本計画の期間終了後に完成見込)													
計画の移行なし	○	17	△	0	-	0	備考	計画の移行あり	●	0	▲	0	
3. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況													
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		太平洋岸自転車道をはじめとする静岡県自転車活用推進計画に位置付けのある路線の自転車走行空間を整備することができた。 路面標示(矢羽根)や案内看板の設置により、自転車利用者によりサイクリングルートが明示することができ、走行性の向上に繋がった。											
II 定量的指標の達成状況	指標①(自転車走行空間整備率)	最終目標値	75%		目標値と実績値に差が出た要因	計画的な事業執行により、目標値以上の対策を実施した。							
		最終実績値	100%										
	指標②(県内の観光入込客数の増減率)	最終目標値	110.0% (162,728千人)		目標値と実績値に差が出た要因								
		最終実績値	65.0% (96,060千人)										
	指標③()	最終目標値			目標値と実績値に差が出た要因								
		最終実績値											
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況		路面標示(矢羽根)の設置に伴い、車や二輪車等の運転手に「自転車が走るスペースである」ということを視覚的に訴えることができ、安全性の確保に繋がっている。											
4. 今後の方針等													
本整備計画「サイクリングの聖地“ふじのくに”の自転車走行空間の整備」として事業完了することができた。 今後は、「サイクリングの聖地“ふじのくに”の自転車走行空間の整備(第2期)」として(国)469号ほかの自転車走行空間整備を推進していく。													